

(教材第3号様式)

吉田学術教育振興会
令和6年度 教材活用状況報告書

報告日 令和 8年 1月 26日

公益財団法人吉田学術教育振興会
理事長 山倉 修一 殿

学校名	福岡市立香椎東小学校
報告者	北野 裕樹 (連絡先 TEL : 092-681-1511)
寄贈品	1. タブレット顕微鏡観察キット 2. サイエンス web センサー 3. 食塩水濃度屈折計
活用状況 (使用者、使用内容、使用頻度等)	○タブレット顕微鏡観察キット ・使用者 : 5年生児童 ・使用内容 : 「生命のつながり」「もののとけ方」の単元において、メダカの卵の観察や食塩の粒が溶ける様子を観察する際に使用 ・使用頻度 : 年間2単元で3クラスが使用 ○サイエンス web センサー ・使用者 : 6年生児童 ・使用内容 : 「ものの燃え方」「人やほかの動物の体のつくりとはたらき」「水溶液の性質」「生物と地球環境」の単元において、燃焼前後の気体や人や植物の呼吸した気体の O_2 や CO_2 の割合を調べる実験に使用 ・使用頻度 : 年間4単元で4クラスが使用 ○食塩水濃度屈折計 ・使用者 : 5年生児童 ・使用内容 : 「もののとけ方」の単元において、食塩水溶液の濃度の均一性を調べる実験で使用 ・使用頻度 : 年間1単元で3クラスが使用 (年3回程度)

<p>申請当初の 目的達成状況</p>	<p>上記実験器具を用いることによって、目に見えない事象を数値によって可視化することすることができる。それによって、事象に対して自分の予想したことについて納得できるまで追求できている。また、数値での記録やミクロの事象を写真で記録できることで客観的データをもとに学習を進めることができている。</p>
<p>教育的効果について所見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット顕微鏡観察キット 自分のタブレット端末でじっくりと観察をすることができ（1人1実験）、写真で記録をすることもできるので客観的データをもとに学習を進めることができた。 ・サイエンス Web センサー、食塩水濃度屈折計 燃焼前後の気体や人や植物の呼吸した気体、水溶液から発生する気体などの O_2 や CO_2 の割合を児童のタブレットを用いて容易に記録したり、帯グラフにしたりできることで、正確な結果で記録することができる。さらに、客観的データをもとにすることで納得のいく考えが出しやすかった。

活用状況の写真等（当日の様子など）



今後の活用見通し・課題

今後も、上記単元で使用を続けていく。課題としては、「理科学習における自己調整という点」でより少人数で、できれば1人1実験ができるようにしたいので、実験器具の数の整備を進めていきたい。